



機関リポジトリのコンテンツ形成

広島大学図書館 学術情報リポジトリ主担当
尾崎文代
上田大輔

目次

- 広島大学の経験から
- コンテンツについて考えてみる
- コンテンツ収集の課題
- コンテンツの活用

最初の一歩

広島大学の場合

- 「機関リポジトリ」を今年度中に立ち上げる。
- コンテンツ目標件数 1,000件

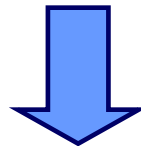
当初のコンテンツ収集

あまり深く考えていなかった

- 質より量
- 簡単そうなものから
- 別サーバにあるコレクションも
- 研究者を個別訪問 「全部下さい」

行き詰まり

- 人海戦術はもう使えない。
- 「全部下さい」 → ほとんど登録できず。
- 収集の優先順位は？
- 何のためのリポジトリ？



コンテンツ収集方法・収集方針の見直し

反省後

収集方法

コンテンツの種類に
応じたやり方で

収集方針

広島大学でしか
集められない資料を!!

コンテンツについて考えてみる

- なぜコンテンツを集めるのか？
- どのようなコンテンツを集めるのか？
- いつコンテンツを集めるのか？
- 誰がコンテンツを集めるのか？
- どうやってコンテンツを集めるのか？

なぜコンテンツが必要なのか？

- 利用者の視点
 - 今すぐに資料が欲しい。
 - Webで見つからない資料は無いのと同じ。
- 図書館の視点
 - 情報の収集・整理・保存・提供は図書館の役割。
 - 図書館不要論への危機感。

どんなコンテンツを集めるか？

- 電子化された
- 一次情報
 - 書誌情報だけではリポジトリと言わない。
- 自機関の教育研究成果
 - 自機関をアピールするものならなんでも。

どんな成果を登録するかは機関ごとに違ってよい。

リポジトリで何を実現したいのか？

広島大学が実現したいこと

- 入手困難な資料を入手可能に。
- 埋もれている資料を表舞台に。
- 消えていく資料の保存を。
- 書誌情報だけというストレスを解消。

広島大学でしか集められない

- オープンアクセスの基盤を作る。

広島大学の収集方針

- Green論文はもちろん。
- 学内刊行物はもらさず。
- 灰色文献の保存・公開こそ醍醐味。
- 何でも入れる。

収集方針例

大学名	収集方針
千葉大学	原則的無節操の原則(何でも入れる)
北海道大学	査読済学術雑誌論文が中心
早稲田大学	紀要・学位論文・COE・プロジェクト研究所の成果を中心に
University of Toronto (カナダ)	出版済または出版予定の学術的または研究的な資料
Flinders University (オーストラリア)	統計データ、ワーキングペーパー、テクニカルレポート、査読論文など

Junii+コンテンツ

2007.6.29現在

コンテンツの種類	件数
学術雑誌論文	21,622
学位論文	10,440
紀要論文	53,054
会議発表論文	588
図書	658
テクニカルレポート	208
研究報告書	1,861
プレプリント	39
会議発表資料	149
一般雑誌記事	2,107
教材	100
データ・データベース	395
その他	11,211

21.1%

51.7%

いつコンテンツを集めるのか？

	立ち上げ 準備	IR立ち上げ	2年目	3年目
システム	システム 設定	改修	運用・保守	
学内合意	学内説明・ 承認			
広報	認知	利用	利用	利用
コンテンツ 収集	コンテンツ収集			

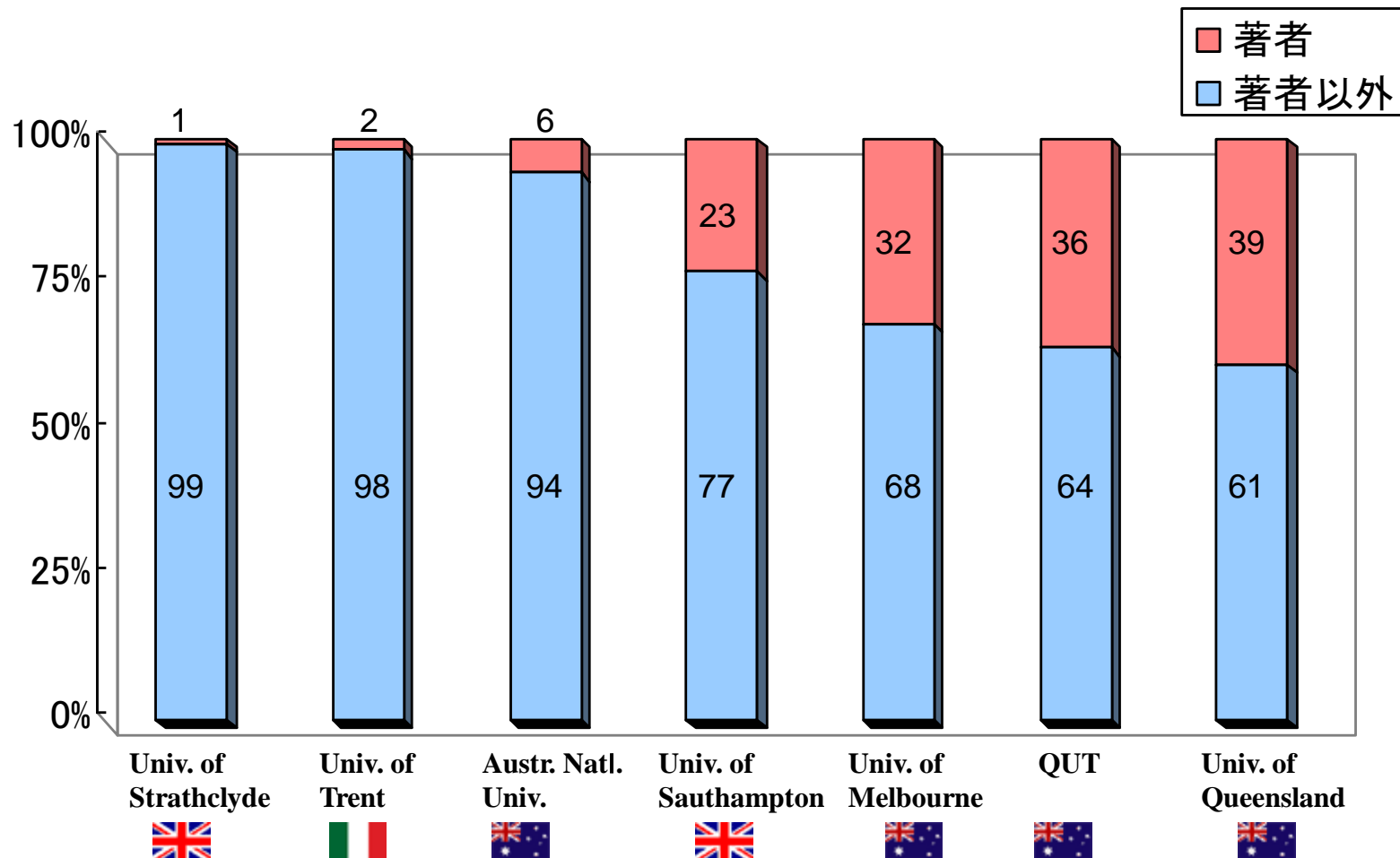
いつでも
いつまでも

誰がコンテンツを集めるのか？

セルフアーカイブ

	収集	登録
1.	著者	著者
2.	著者	著者以外
3.	著者以外	著者以外

著者自らが登録する割合



出典: Assessment of self-archiving in institutional repositories. Serials Review Vol.33 No.1 pp.14-21 * データの無かったLund Univ. とGlasgow Univは除外した。

HiRへの学術雑誌論文提供率

提出方法	件数	割合(%)
図書館からの依頼	574	96.3
著者の自主提出	22	3.7

(2006.5-2007.6)

どうやってコンテンツを集めるのか？

HiRの主要ターゲット

- 学術雑誌論文
- 学内刊行物
- 博士論文
- 科研費報告書

学術雑誌論文

	北大方式	遡及方式
やり方	DBで最新論文を検索 Green論文を抽出 原稿ファイルを下さい	研究者の論文を調査 許諾確認 出版社版OK→遡及的に
メリット	原稿ファイルの保有率 が高い	過去の論文まで登録が 可能
デメリット	Greenの出版社や学 会の論文に限定	許諾確認に時間がかか る

学内刊行物（紀要・研究会誌）

著作権規程の記載なしがほとんど（著者に著作権）



編集委員会へのはたらきかけ

- 最新号から

- 著作権規程の明記
- データの一括提供を
依頼

- バックナンバー

- 個別許諾
- 一括許諾とその告知

規程記載例

例1) 著作権は著者

〇〇紀要に掲載された論文の著作権は、当該著作物の著者に帰属する。ただし、〇〇紀要編集委員会は、〇〇紀要に掲載された論文を電子化し、公開することができる。

例2) 著作権は紀要編集委員会

〇〇紀要に掲載された論文の著作権は、〇〇紀要編集委員会に帰属する。ただし、著作者は著作権が学会に帰属する著作物を自ら利用することができる。

「国文学攷」投稿規定の改定について

広島大学附属図書館より、同館が推進している「学術情報リポジトリ」に広島大学国語国文学会も加わって、「国文学攷」誌上に掲載された論文の電子化とその公開について協力を願う旨の依頼があり、学会として対応するには、著作権の所在を明記した投稿規定に改定する必要がある、その条項を新たに盛り込んだ投稿規定(案)を学会総会に付議し、承認を得ました。

ただし、下記の投稿規定が適用されるのは、総会で承認を頂いた後に発行される一九二・一九三合併号からとなります。よって、それ以前の号に掲載されました論文については、著者に許諾を求める手続きが必要となります。

国文学攷投稿規定

一、本誌は広島大学国語国文学会の機関誌として、学会員からの投稿を常時募集します。

一、投稿論文の採否は、当学会役員より選出された編集委員によって構成される編集委員会で決定します。

一、採否についてのお問い合わせには一切応じません。

一、投稿論文は四百字詰原稿用紙四十枚以内を原則とします。

一、投稿論文の末尾に氏名のふりがな・所属を明記してください。

一、ワープロ原稿での投稿の際には、縦書きの場合は30字×21行、横書きの場合は40字×35行の書式を使用してください。

一、編集の都合上、なるべくフロッピーでの投稿をお願いします。その際、使用の機種・ソフト名を明記してください。ただし、必ずプリントアウトした原稿の同封をお願いします。

一、論文掲載の場合、本誌三部と抜き刷り三十部を贈呈します。余分に必要な場合は、あらかじめ申し出があれば、実費でお領ちします。

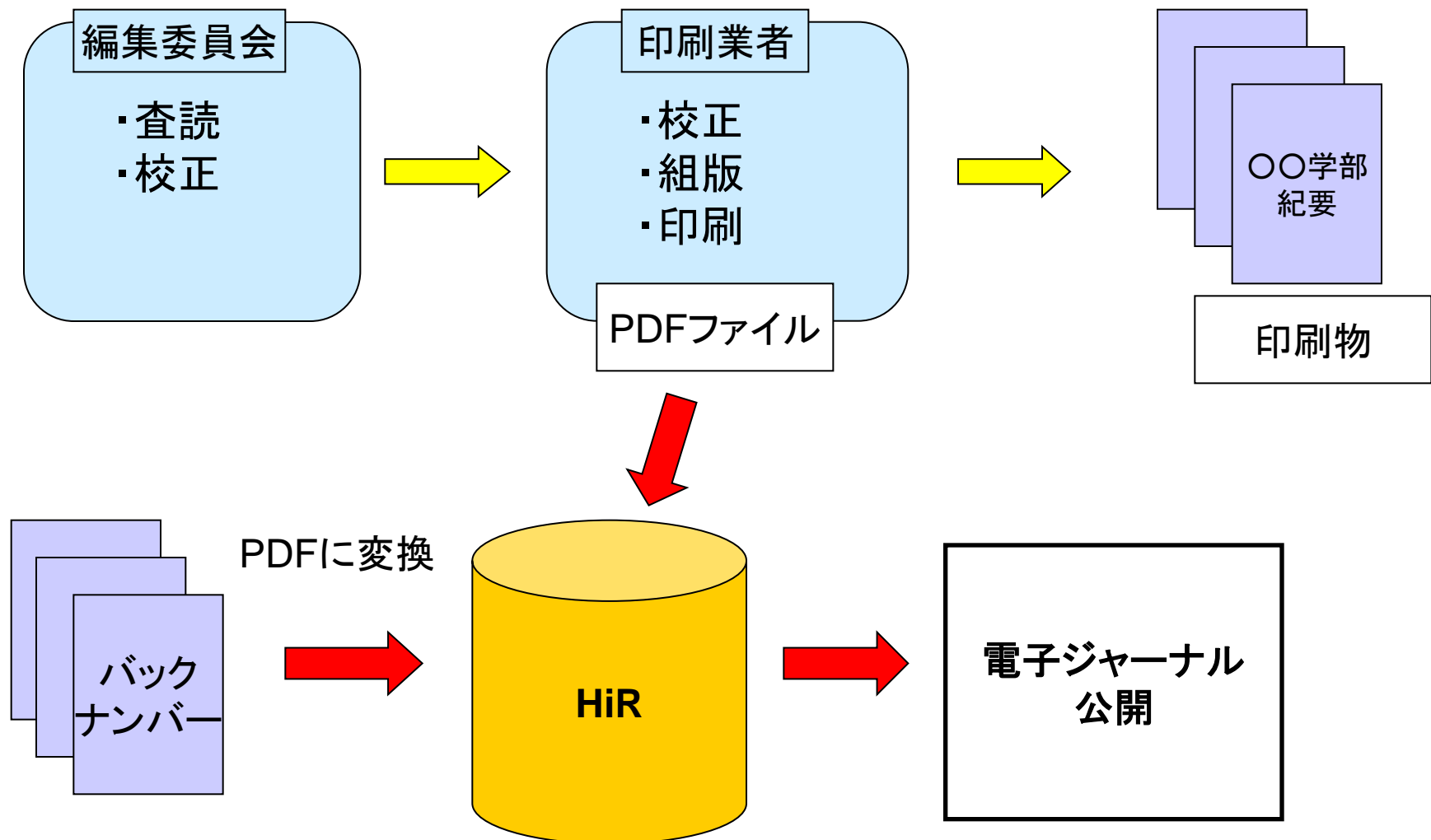
一、本誌に掲載された論文等の著作権は、著者に帰属します。ただし、当学会は本誌に掲載された論文等を電子化し、公開することができるものとします。

一、投稿論文の送り先 〒七三九一八五三 東広島市鏡山一〇二一三

広島大学大学院文学研究科内

広島大学国語国文学会事務局

紀要論文提供の流れ



博士論文

- 入手(複写)困難な資料の最たるもの
- 需要も多い (題目だけがウェブにある)

博士論文調査・閲覧件数(広島大学)

年度	調査依頼(件)	閲覧申込(件)
H17	48	95
H18	40	57

- 各研究科長に登録推進を依頼
- 過去5年分の許諾確認・電子化

研究科の懸念

- 雑誌に掲載された論文を載せているが、その著作権は？
- 書き直して書籍で発行するので公開したくない。
- 企業との共同研究なので、すぐには公開できないし、企業の許可も必要。

図書館の懸念

- 必ずしも公開された著作物とはいえない？
- 本人だけでなく出版社や学会の許諾も必要？
- 卒業した人の連絡先はほとんど分からない。
- 過去の論文のスキャンは、費用・時間・労力がかかる。
- 研究科長にお願いしたけど、自発的に提出してくれる人はほとんどいない。

科学研究費報告書

- 入手困難な資料の1つ。
- 過去5年分の許諾依頼・電子化。
- 未発表データ・雑誌掲載論文の別刷あり
→公開できないものも多数
- 電子ファイルの提出義務化を希望

コンテンツ収集の課題

- 研究者のIRに対する認識
- ニーズの分析
- 継続性

研究者のIRに対する認識

- 知らない
- 関心がない
- 必要がない

知らない

セルフアーカイブすることで自分の研究成果に対するオープンアクセスが可能になることをご存じですか？

最近3年間でデポジットを行っていない研究者では

知らない 86%

関心がない

リポジトリの説明・論文提出のお願いをしたいのでお時間がある時に研究室にお伺いしたいのですが。

未回答 92.8%

必要がない

- 電子ジャーナルがある論文を重複して公開する意味がない
- 登録の必要性を感じない。
- リポジトリは無駄である。必要な情報は金を出しても買う。

ニーズの分析

- 登録者のニーズ
 - よく分からない
 - 研究者をもっと知らなければ
- **アドバイザー制度を開始**
- 利用者のニーズ
 - ILLから
 - ダウンロードから

広島大学ILL受付トップ10

No	雑誌名	受付回数
1	日本新生児看護学会講演集	554
2	広島大学心理学研究	380
3	日本新生児看護学会誌	226
4	ストレス科学	210
5	理寮	177
6	Oncology Reports	172
7	広島大学教育学部紀要 第1部	153
8	広島大学教育学研究科紀要 第3部	141
9	総合保健科学	127
9	広島大学教育学部紀要 第2部	127

紀要が5誌も
ランクイン

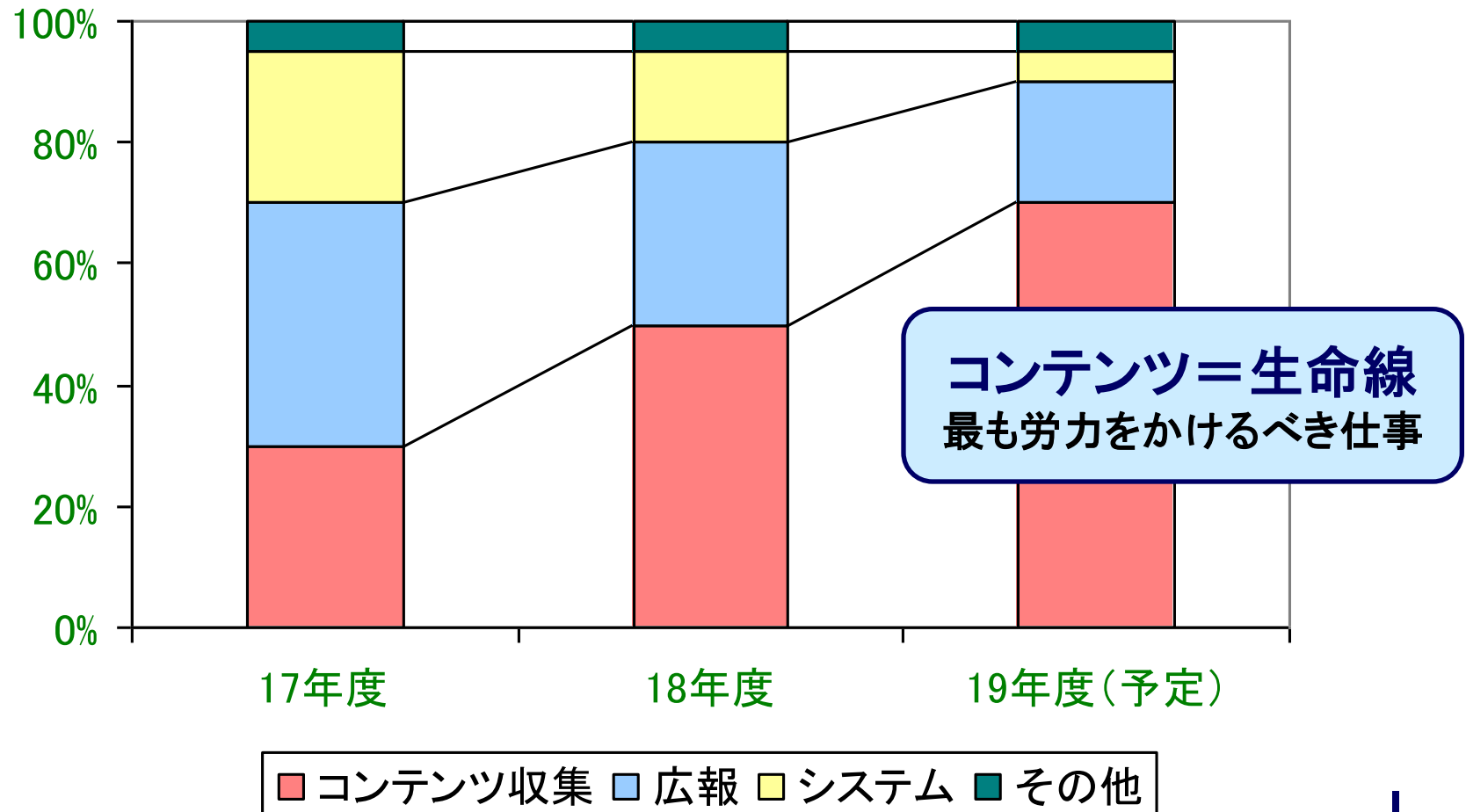
HiRダウンロード数トップ10

No	タイトル	種類	DL数
1	衝突頻度と平均自由行程	教材	1,499
2	読み継がれる「源氏物語」	広報資料	1,261
3	化学ポテンシャルと平衡定数	教材	1,088
4	磁気モーメントとg値	教材	987
5	電磁気学における単位系	教材	896
6	歳差運動の物理学	教材	712
7	物体の速度と物質波の速度	教材	672
8	発行スペクトル強度と励起分子数の関係	教材	663
9	オオサンショウウオの遺伝子メロディーを奏でる	論文	508
10	統計熱力学における古典統計と量子統計の関係	教材	484

論文以外の需要も
かなりある

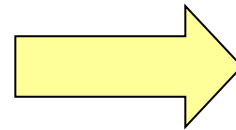
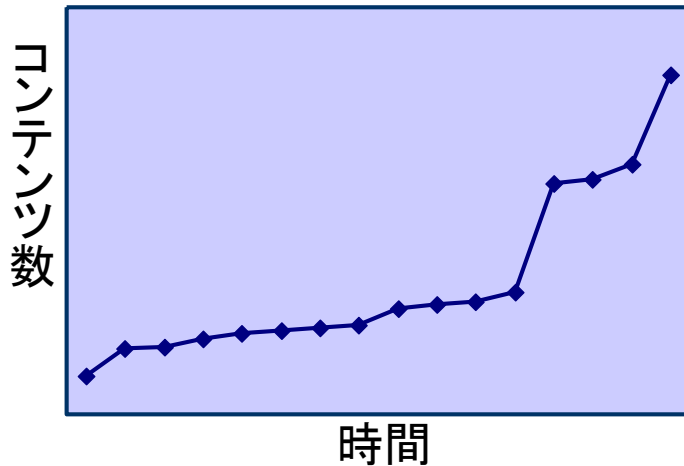
継続性 -業務負担-

IR業務量の割合(広島大学)

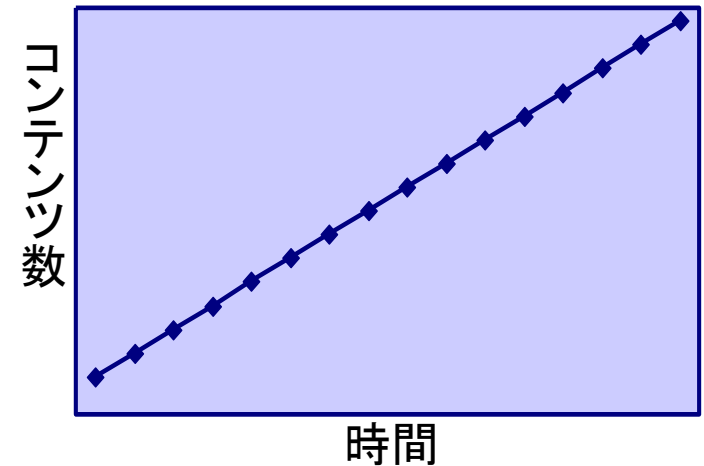


継続性 -件数の増え方-

現実



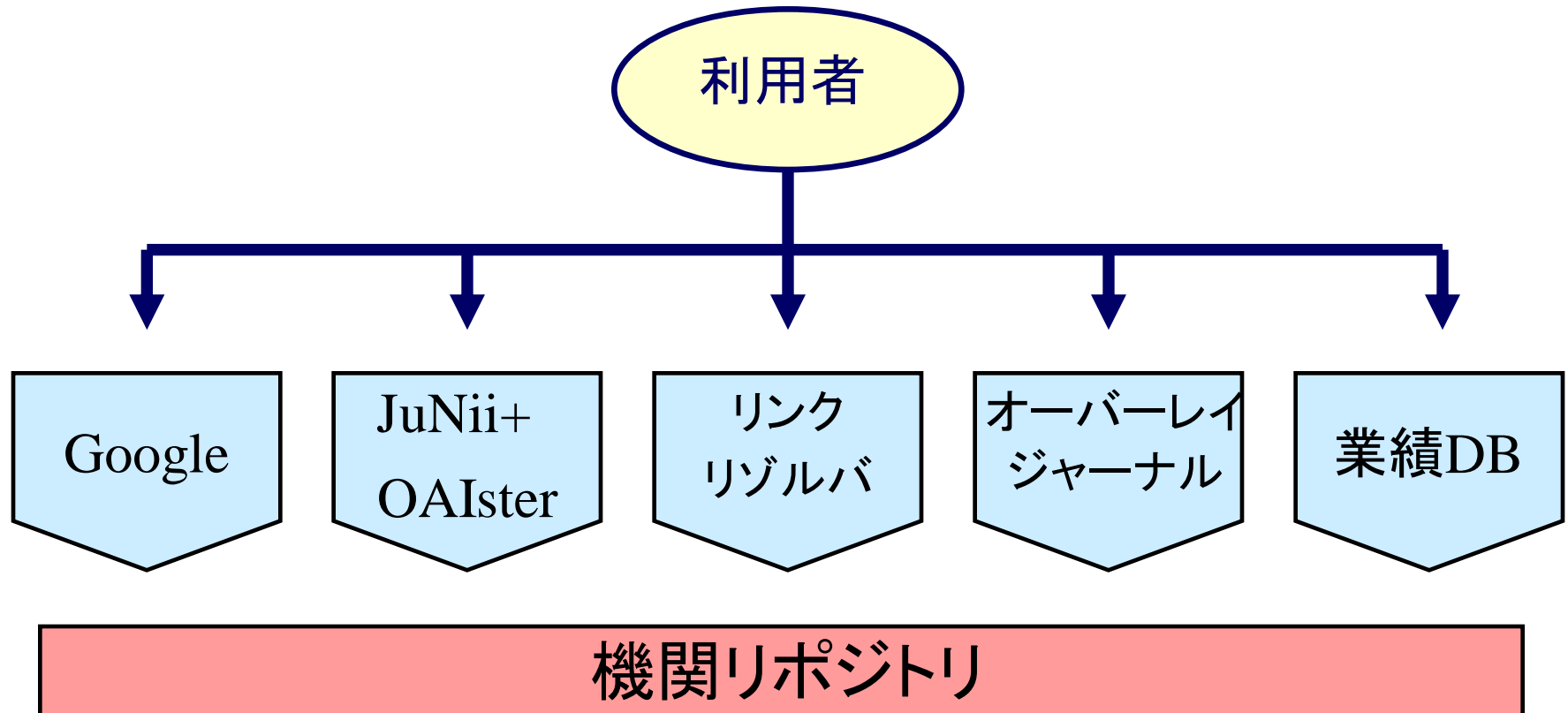
理想



着実なコンテンツの獲得を!!

コンテンツの活用

使われなければ意味が無い



最後に

- やめられない
 - 大学の成果がある限り、
育て続ける覚悟を決めよう。
- それならば楽しくやろう
 - 喜びを見つける。
研究者からのフィードバック。
ILLの受付件数・謝絶件数。
多彩なプロモート。 etc.

参考文献(1/2)

- 阿藤品治夫. 機関リポジトリを軌道に乗せるため為すべき仕事 : 千葉大学の初期経験を踏まえて”. 情報管理. Vol. 48, No. 8, 2005, p.496-508
http://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/48/8/496/_pdf/-char/ja/
- 国立大学図書館協会国際学術コミュニケーション委員会. 国立情報学研究所. “研究活動及びオープンアクセスに関する調査報告書”
http://wwwsoc.nii.ac.jp/anul/j/projects/isc/sparc/oa_chosa.pdf
- 尾崎文代; 上田大輔. 広島大学学術情報リポジトリ(HiR)のコンテンツ収集戦略 : 機関リポジトリを育てつづけるために. 大学図書館研究. Vol.79, 2007, p.35-42
- REFORM(Reengineering of the Functionality of Research Libraries in the Digital Milieu) 電子情報環境下における大学図書館機能の再検討平成16～18年度 科学研究費補助金基盤研究(B)
http://cogsci.l.chiba-u.ac.jp/REFORM/Final_Report/reform_final_report.html

参考文献(2/2)

- Jinfeng Xia. Li Sun. "Assessment of self-archiving in institutional repositories: Depositorship and full-text availability. *Serials Review* Vol.33, No.1, ,2007 p.14-21
- Suzuki Masako; Sugita Shigeki. From nought to thousand : The HUSCAP Project. *Ariadne*. Issue 49, 2006, <http://www.ariadne.ac.uk/issue49/suzuki-sugita/>
- Davis Philip M; Connolly Matthew J. L. Institutional repositories : Evaluating the reasons for non-use of Cornell University's installation of DSpace. *D-Lib Magazine* Vol.13, Issue 3/4, 2007, <http://www.dlib.org/dlib/march07/davis/03davis.html>